

CARIFAS Educational system

* 重城病院 CARIFAS 足の外科センター 研修制度のご案内

1. 応募資格

- 1) 日本足の外科学会の定める「足の外科専門医マッチング制度 応募要項」の基準を満たすこと
- 2) 足の外科に対する興味を持っていること
- 3) 向上心と向学心を持ち合わせていること
- 4) 協調性があり自分を律することができること
- 5) 他人に対し敬意をもって接することができること

2. 採用人数

年間 2 名以内

* 院長による面談の後、当院の審査委員会により採否を決定する

3. 研修期間

1 年

* 短期間の研修も随時受け付けます

4. 待遇（研修期間 1 年の医師が対象）

当院規定に準ずる

週 4.5 日勤務（週 1 回の研究日に外勤可能）

* 給与は ¥400,000 / 月程度（月 1 回の救急当直および月・水・金曜日のうちいずれか 2 日の午後と土曜日午前中の一般外来を含む）

* 年間 2 回、海外出張に対する旅費をサポート

袖ヶ浦駅近くに宿舎(3LDK)あり（管理費 2000 円/日）

* 国内外の留学生と共同生活となります。

5. 指導者

・ 常勤指導者

1) 高尾昌人

CARIFAS 所長、日本足の外科学会理事

* 得意分野：鏡視下手術、スポーツ足の外科

2) 重城保之

重城病院院長

* 得意分野：超音波診療、足関節足部外傷、体外衝撃波・PRP 治療

6. カリキュラム

1) 外来（月・水・金曜日の午前中）

上記常勤指導者による外来での case study、ディスカッション等

2) 手術（火・木曜日）

手術室での case study、見学、手術助手、記録（データ）入力等

3) 病棟（適時）

病棟業務、記録（データ）入力

4) リハビリカンファレンス（月曜日 14:00～）

リハビリカンファレンスで手術症例について presentation

5) 学会活動

以下の学会への参加、発表を奨励する

国内：日本整形外科学会、日本足の外科学会、JOSKAS

海外：IFFAS、AAOS、ISAKOS、ESSKA、AIG、ICCRA

6) 臨床・基礎研究

希望者は以下の臨床・基礎研究に参加

臨床：各鏡視下手術の治療成績、PRP・APS の治療成績等

基礎：足関節靭帯の biomechanics (バルセロナ大学における共同研究)

腱変性・関節軟骨損傷に対する PRP/APS の効果

7) Cadaver seminar への参加斡旋

* Asia Foot & Ankle Cadaver seminar (バルセロナ大学)

* 各社の主催する Cadaver seminar (年 2 回程度)

7. 足の外科手術症例：年間約 450 件

足関節鏡視下手術（外側靭帯損傷、関節軟骨損傷、前方・後方インピンジメント症候群、足底腱膜炎等）

外傷（果部骨折、距骨骨折、踵骨骨折、リスフラン関節脱臼骨折等）

慢性疾患（外反母趾、内反小趾、鉤状趾、後脛骨筋腱機能不全症等）

その他（尖足変形、モートン病、フライバーグ病等）

* 糖尿病足、爪変形の治療は行っていない

8. その他

当院は厚生労働省による PRP・APS 治療の認可を受けた第 2 種・第 3 種再生医療認可施設であり、対象となる足関節・足部疾患に対し治療を行っている。